



和歌山県看護協会
かんどちゃん

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第165号

令和5年10月発行

CONTENTS

- ・地区支部だより 2～3
- ・私の病院の災害対策
(トピックス 2023) 4～5
- ・地域連携のコーナー 6
- ・私の“Happy Time” 6
- ・訪問看護ステーションだより ... 7
- ・医療安全数珠つなぎ 7
- ・リレーエッセイ 友達の輪 7
- ・ふれあい看護体験 8～9
- ・施設だより 10
- ・プレゼント 10
- ・令和5年度 施設代表者会 11
- ・自治体保健師の活動内容や
魅力発信イベントを開催 11
- ・令和5年度 新人看護職員
オリエンテーション 11
- 【大切なお知らせ】
- ・「マナブル」事前登録のお願い ... 12
- ・災害支援ナース養成研修の
受講者募集終了のお知らせ ... 12
- ・理事会報告 12



医療法人 宮本会 紀の川病院 ▶ <施設だより> (10ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

和歌山県看護協会会員数

令和5年10月4日現在 登録者数

会員総数	6,237名
名誉会員	2名
保健師	140名
助産師	213名
看護師	5,780名
准看護師	102名

地区支部だより



伊都地区支部

支部長 西 未知子

伊都地区支部では、感染に強い地域になるという目標を掲げ「感染管理マネージャー養成研修」を開始し今年で3年目となります。研修会を通して医療と介護の連携、顔の見える関係作りにも取り組んでいます。

また地域で開催される「まなびの日」では、地域の方に骨密度測定や手洗い講習を行っています。

情報共有のため5病院の部長が集まり部長会も行っています。地域も医療も介護もどんどん連携が取れるように頑張っていきたいと思います。



那賀地区支部

支部長 稲垣 伊津穂

【まちの保健室】

岩出市のスーパーで市民の方にフレイル予防の啓発活動

【第1回地区支部研修】

「認知症を地域で支えることを目指して」をテーマに、認知症看護認定看護師より那賀圏域におけるケアの実践について講演を頂きました。

【老人月間】

10月29日に開催されます「青洲まつり」でブースを設け、啓発活動と健康チェックを予定しております。

【第2回地区支部研修】

「在宅療養支援において看護職に期待すること」をテーマに、いしが在宅ケアクリニックの石賀先生にWEBでご登壇頂き、講演を予定しております。

役員一同力を合わせて支部活動に取り組んで参ります。

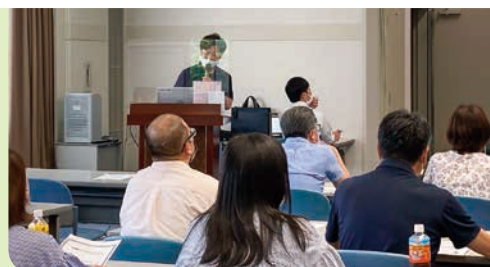


和歌山地区支部

支部長 東田 裕子

看護の日事業は、令和5年5月10日(水)和歌山県と和歌山県看護協会の共同事業に参加させていただきました。伏虎義務教育学校で看護師の出前授業をおこない、看護師という職業への理解につながる機会となりました。

第1回研修会は令和5年6月10日(土)東京医療保健大学和歌山看護学部 吉村公一先生による「看護職のメンタルヘルスーストレスに焦点を当ててー」を開催しました。話し合いも活発で元気になれる研修でした。



海南・海草地区支部

支部長 楠岡 誠

6月10日(土)海南・海草地区支部集会及び研修会を開催しました。「看護師のメンタルヘルスについて」をテーマに、国保野上厚生総合病院 看護師 小畠拓治先生に講演していただき、会場29名、WEB57名の参加がありました。

研修会後の感想として、「実践的でとても分かりやすかった。ストレスコーピングについて、ゆっくり考えてみようと思う」「セルフケアが大切で、自己コントロールが必要であると改めて再認識できました」との意見が聞かれ有意義な研修会となりました。



有田地区支部

支部長 御前 有美

7月15日(土)地区支部集会及び研修会を開催しました。

『誤嚥性肺炎の予防と摂食嚥下ケア』をテーマに杉山 智子先生に講演していただき、42名の参加がありました。

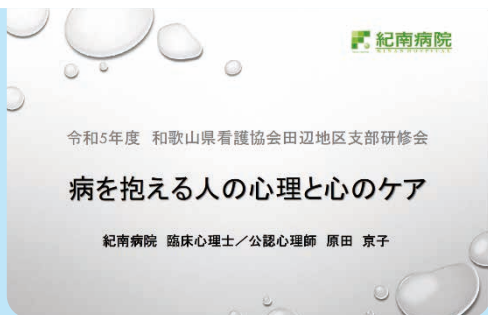
動画や食事介助演習を通して、予防と誤嚥性肺炎の再入院率の低下に繋げることが出来る研修内容で好評でした。看護補助者にも同研修をとの意見もあり、今後看護・介護の協働の視点での研修企画も検討して行きたいと思います。



日高地区支部

支部長 小松 香世美

7月1日(土)令和5年度地区支部報告会ならびに第1回研修会を開催しました。研修会は「COVID-19 感染対策と今後の課題」をテーマにして、ひだか病院 感染管理認定看護師の上道雅和先生にご講演いただき、63名の参加がありました。新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行して、何が変わったのか?世間一般では、感染性、病原性がまるで違ったような風潮がある。参加者からは、「今回、講義を聞くまでは5類に変更され危機感が薄れていた事に気付けた。」と感染対策の重要性を再認識する機会となり、好評でした。



田辺地区支部

支部長 谷本 あけみ

7月8日(土)に、支部報告会と第1回研修会を開催し、37名の参加がありました。

研修会では、「病を抱える人の心理と心のケア」と題して、紀南病院 臨床心理士/公認心理師の原田京子氏にご講演をいただきました。

参加者から、「患者自身で自分のことが出来なくなっても『どうしたいのか』を自分で決める、判断することが『自立』につながるとう話が印象的で、確かにそうだなと心に残った。」との感想があり、大変好評でした。



新宮・串本地区支部

支部長 佃 瑞穂

5月13日(土)オークワスーパーセンターにて「1日まちの保健室」を開催し、100名近い地域住民にお立ち寄りいただきました。8月19日(土)には第1回地区支部研修会として「地域包括的な認知症への取り組み」をテーマに認知症認定看護師の活動報告を行う予定です。

11月には老人看護月間行事として、太地町のくじら祭に参加させていただく予定です。

私の病院の災害対策

医療法人 南労会 紀和病院 救急看護認定看護師

林 ミユキ

近年、想定外の自然災害が頻発しています。自然災害を振り返ってみると豪雪、地震、豪雨、夏の猛暑、たび重なる台風の上陸、線状降水帯の発生などで甚大な被害が相次いでいます。当院は、和歌山県北部の橋本市にある299床の民間病院です。周辺環境は、病院のすぐそばに紀ノ川が流れ、近隣に中央構造線断層帯があります。そして、和歌山県の沿岸部は東南海・南海地震がいつ発生してもおかしくない地域です。紀ノ川の氾濫による水災害や中央構造線断層帯に起因する地震、東南海・南海地震を想定していますが、西日本豪雨のような、想定外の事態が起こることも念頭に置く必要があります。

和歌山県は、独自の制度として災害拠点病院を支援する病院を災害支援病院と指定しており、当院は2013年に災害支援病院に指定されました。想定外の事態が発生した時に病院機能を滞らせないためには、平時から災害訓練や災害への備え、マネジメントが必要です。しかし、災害訓練や準備、マネジメントを行っている組織と言えば、災害拠点病院やDMAT^{*1}など限られた組織が多く、当院のような民間病院は同様の訓練を行いたくても、マンパワーや知識不足のために行うことができませんでした。医療は、平時・災害時に限らず公的病院だけですべてを網羅して完結することはできません。そのため、公的病院ができないような「地域に不足した部分を補うこと」が、私たち民間病院の役割です。また、災害時にはできる範囲の災害対応を行い、自力で災害対応ができない時は院外へSOSを出すこと、そして救援のDMATと共に医療を継続させることも私たち民間病院の役割だと考えています。

※1 DMAT：災害医療派遣チーム（Disaster Medical Assistance Team）の頭文字

伊都・橋本地域では、橋本災害医療フォーラムが毎年行われています。当院は2017年から参加し、新型コロナウイルス感染症が流行した2020年と2021年以外は災害拠点病院や橋本保健所を中心に地域の災害訓練を行っています。参考になるかは分かりませんが、2022（令和4）年10月22日に実施した災害対策本部立ち上げ訓練を時系列に紹介します。

1 12:30～ 参加者集合

災害対策本部立ち上げ訓練のオリエンテーション

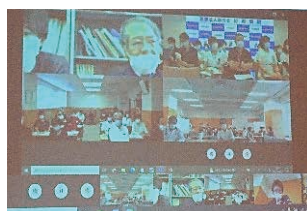


2022(令和4)年10月21日23時頃地震発生(想定一部抜粋)
病院の建物自体は倒壊のおそれはなし。電気の供給なし。水の供給なし。
道路の状況の詳細は公式に発表なし。伝聞のみ。県の沿岸部の状況は相当被害が予想される。発災直後より外科内科の当直医と病棟看護師で何とか一夜を過し、10月22日14時頃、病院長が到着した。

災害訓練の参加者と災害訓練のコントローラへ、訓練時間や橋本災害医療フォーラムの想定(右上記図参照)、現時点で明らかになっていることを情報共有する。

2 13:00～

災害医療フォーラムオリエンテーション(Web.Teams)



Teams 開始



災害の基礎知識 講演



訓練参加者



看護部参加者

3 14:00 ～ 災害訓練スタート

院内の状況把握と情報収集



病院周辺情報確認



食料備蓄の確認



院内電気系統確認



EMIS入力

4 16:00 ～ 訓練終了

院内の評価

院内ライフラインの評価

院内情報の集約



院内ライフライン状況	
電気	自家発電、西・東館 12.5 時間稼働可 別館 30.0 時間稼働可
水道	浄水使用できない。井戸水余裕あり 15 時に 10 トン到着 (48 トン中)
PHS	不可
固定電話	OK
インターネット	不可
酸素供給	残 9 日分
トイレ	使用禁止、井戸水使用可か確認中

電気

自家発電、西・東館 12.5 時間稼働可
別館 30.0 時間稼働可

水

浄水使用できない。井戸水余裕あり
15 時に 10 トン到着 (48 トン中)

酸素供給

残 9 日分

トイレ

使用禁止、井戸水使用可か確認中

看護職員情報	
日勤	夜勤
1 東 20 床	1 東 20 床
2 東 52 床	2 東 52 床
3 東 56 床	3 東 56 床
2 西 58 床	2 西 58 床
HCU 8 床	HCU 8 床
2 西 54 床	2 西 54 床
3 西 55 床	3 西 55 床
合計	合計

看護職員情報



看護部勤務表の再編

透析室情報	
月・水・金	月・水・金
AM	PM
2 東	2 東
2 西	2 西
合計	合計

透析室情報

患者情報	
定床	入院患者数
1 東 20 床	1 東 20 床
2 東 52 床	2 東 52 床
3 東 56 床	3 東 56 床
2 西 58 床	2 西 58 床
HCU 8 床	HCU 8 床
2 西 54 床	2 西 54 床
3 西 55 床	3 西 55 床
合計	合計

患者情報

院内の状況をリアルタイムに情報収集し 2 時間の訓練で上記のような情報を得ることができました。院内の評価では、自家発電が稼働したあと何時間発電しているのか、発電中に燃料の補充はできるのか、補充するための準備はできているのかなど細かな確認が重要です。そして、多くの情報をアセスメントして、この災害を乗り越える次の手立てを考えなければなりません。このように、災害訓練を実施することで、できていること・できていないことに気が付き備えにつなげることも災害訓練の魅力です。

5 16:30 ～ 3 病院 (災害拠点病院と災害支援病院) と橋本保健所の検証会 (Web:Teams)



振り返り 17:00 終了

おわりに、災害訓練は毎回 2 ～ 3 時間程度で実施しますが、不慣れな役割、即席のチーム編成、聞き慣れない言葉が飛び交い、緊張の連続です。訓練とわかっていても長い時間拘束されたような疲労感が残ります。今後も災害への意識を高め想定外の事態に陥った時、自身や職員、患者様の安全が守れるよう取り組んで行きたいと思います。

地域連携のコーナー

医療法人 愛晋会 中江病院

地域連携室長 立石 貴巳

当院は和歌山市北部にある192床（一般病棟85床、地域包括ケア病棟49床、回復期リハビリテーション病棟58床）のケアミックス病院です。多職種連携が当たり前になってきており、看護師の皆様にも地域連携室の業務内容が浸透してきているのではないかと思います。

当院の地域連携室の特色は、病棟の担当制をとり、各病棟でMSWが業務を行うことで病棟での医師や看護師といった多職種との連携を密にとる事とACP（アドバンス・ケア・プランニング）を基本に患者とコミュニケーションをとり患者の声を尊重することを大事にし、日々業務を行っています。

しかし、病院には施設基準等で様々な制約があり、その条件の中で患者や家族の意向にどれだけ寄り添えられるかが悩みの種です。「患者や家族が納得できる支援が出来たのか?」「もっと適した支援が出来たのではないかと?」と日々自身がかかわった支援を振り返り、反省や改善を図りながら自己研鑽を常に行っています。当院の患者の中には、解決しづらい様々な問題を抱えながら入院されている方も多く、その問題を少しでも解決できるようにお手伝い出来るかが医療ソーシャルワーカーの手腕と考えています。

地域連携室は地域連携室長（看護師）1名、退院支援看護師1名、社会福祉士3名、事務員1名の合計6名体制で現在活動しています。今年からは退院支援看護師が1名配属されましたので、今まで以上に看護師目線の支援も出来るようになりました。中江病院の地域連携室はこれからも地域の患者や家族の立場に立ち、信頼関係を深めながら常に寄り添った支援が出来るように頑張っていきます。地域連携室の看護師もやりがいはいたくさんありますので、皆様の中に興味のある方は是非、やってみてください。



私の“Happy Time”

白浜町役場 保健師 平野 健志

僕の“Happy Time”は、前回の平井さんと少し被ってしまうのですが、週末の「少年野球」です。僕自身、高校まで野球をやっていたこともあり、小6になる息子が所属するチームの（なんちゃって）コーチをさせていただいています。平日は、なかなか体を動かす機会がない分、自身の運動不足解消の一助となっている・・・はずです。それと、スタッフによる「ミーティング」と称しての一杯会も、間違いなく僕にとっての“Happy Time”です。



今回は、公益社団法人 地域医療振興協会 有田市立病院 井口 あかね 様の“Happy Time”です。



訪問看護ステーション ちょうりつ

管理者 速水 久美

訪問看護ステーション「ちょうりつ」は、令和5年3月1日に那智勝浦町立温泉病院内に開設した1年目の事業所です。「病気や障害があっても、住み慣れた自宅でその人らしい生活ができるよう支える」ことを目標としています。

那智勝浦町立温泉病院は、温泉と生まぐろで有名な那智勝浦町にあります。そして、地域の方々や県外からもリハビリテーションを目的とした多くの患者さまを受け入れています。そのため地域の方々からは、訪問看護師の行うリハビリテーションに対する期待が高くなります。私たちは、院内のセラピストに指導を受けながら、生活の質を維持できるリハビリテーションに取り組んでいます。

また、当ステーションの摂食・嚥下障害看護認定看護師が、栄養評価・栄養相談・嚥下相談等を行いながら、利用者の皆さまに「その人らしい生活」ができるようスタッフ一丸となって頑張っていきたいと思います。



国立病院機構 和歌山病院

医療安全管理係長 稲田 ゆり

医療安全管理者4年目です。当院では、セーフティマネージャー部会等で、医療安全管理者と現場が協働しWG活動を行っています。今年度は「骨折防止」「患者誤認防止」「モニタ管理」ラウンドを行っています。WG活動は、メンバーに主体的に活動に関わってもらい動機付けにもなっています。メンバーがWG内で自身の役割を発揮できるよう調整していくことも課題です。チームで協働し、前向きな医療安全活動に取り組んでいきます。

医療安全

数珠つなぎ

次回号に紹介させていただく方は、

国立病院機構 南和歌山医療センター 宮井 美幸 様です

リレーエッセイ

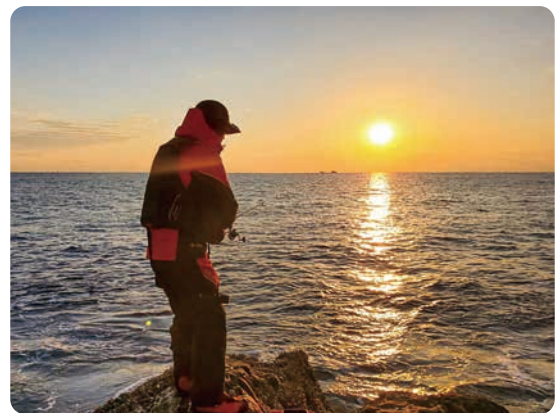
友達の輪

Vol.74

和歌山県立こころの医療センター 中尾 武志

串本町檜野崎の朝焼けです。穏やかになる大好きな景色です。

最近の休日は家で過ごすことが多かったのですが、息子達に誘われ、数年ぶりの磯釣りに行きました。目の前に広がる海が絶景で、海面に浮かんだウキを眺めているだけで時間を忘れました。釣果はともかく、とてもリフレッシュできました。



仕事とプライベートのオンオフの切り替えは大事ですね。今後も自身の「こころのケア」も怠らずに、仕事を頑張りたいと思います。

今回は、和歌山県立医科大学付属病院紀北分院 山本 真由 様をご紹介します。

ふれあい看護体験を実施しました



和歌山生協病院

高校生でも簡単に楽しめるよう、血圧測定、病棟見学や車椅子体験等の内容で実施しました。実際に看護師との交流を持ち、看護師になりたい思いが強くなったと前向きな感想が集まった結果になりました。

(看護師・中島 早紀)



日本赤十字社 和歌山医療センター

37名の高校生が参加してくれました。血圧測定やシミュレーターでの観察、車移送などを楽しく体験できていました。病棟では患者さんと接する看護師の様子を見学し、看護の仕事について理解を深めることが出来たようです。

(看護師長・今城 博枝)



公立那賀病院

25名の高校生が看護師の白衣を着用し、実際の医療現場お雰囲気を感じ体験していただきました。命の大切さ、コミュニケーションの必要性などを感じていただき、未来の看護師へと繋がる良い体験であったと思います。

(副看護部長・井ノ上 真澄)



和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

参加者は看護師志望の県下の高校3年生4名でした。病棟看護師のシャドーイングや患者・看護師役にわかれ車いす移送の演習を行いました。体験を通して、看護の道を目指す思いがより強くなったと話してくれました。

(看護管理室・石井 千有季)



社会福祉法人 恩賜財団 済生会有田病院

4年ぶりの実施となり十分な体験をしてもらえたかと不安でしたが、体験者からは普段経験できない体験ができ、看護の道に進みたい気持ちが強くなったと喜んでもらえました。近い将来、一緒に働ける日が楽しみです。

(係長・渡瀬 扶代子)



紀 南 病 院



看護師の看護実践や、患者との関わりを通して「看護師になりたい」という気持ちをより強くもつことができたようで、嬉しく思うのと同時に、ホッとしています。体験者の将来の夢と看護の未来に乾杯！

(看護部管理室 副看護部長(教育担当) 早川 逸子)

施設だより

医療法人 宮本会 紀の川病院

看護部長 宮本 芳紀



医療法人宮本会の二番目の病院として、紀の川病院は和歌山県紀北地域の精神科医療の役割を担うべく1970年（昭和45年）岩出市内（旧那賀郡岩出町）に創設されました。その後、時代の変化に対応するため2006年（平成18年）病院全体が新築され、創設当初と全く雰囲気が違う環境となりました。

現在、入院病棟は「精神科急性期病棟」1棟と「精神科療養病棟」3棟の2種4病棟218床で運営しています。そして「外来診療」「地域生活相談業務」「精神科訪問看護」「精神科デイケア」「作業療法」「心理カウンセリング」「精神科看護実習生の受け入れ」など、地域の精神科医療に対するニーズにお応えできるよう取り組んでおります。

2020年（令和2年）院内に待望の「医療安全推進室」が設置され、医療安全管理者を毎年養成できるようになりました。今後の目標として、職員の「医療安全に関する感受性」をさらに培い「患者さんの心身の安全や権利を守ること」を使命として歩んで参りたいと考えています。

職員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）

について、生活面では「残業が少ない」「休暇を取得しやすい」などの働きやすさがあげられます。一方、仕事面は、患者さんの精神疾患特有の症状と向き合うため「個別性尊重」と「安全管理尊重」、「治療の必要性」と「自己決定」などの重複する価値観の相違により「倫理的なジレンマ」にしばしば直面します。

しかし、思考錯誤を繰り返し、粘り強く関わっていると、患者さんの表出されていなかった「考え」や「気持ち」に触れることができ、同時に「倫理的なジレンマ」が起きている状態から解放される体験をすることがあります。まさに、精神科の業務の醍醐味が味わえる瞬間ではないでしょうか。

最後に、これからも地域の方々が安心し、心豊かに暮らせることを願っております。

第47回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、11月30日（木）までにお送りください。（消印有効・1人1通のみ）
抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先

〒642-0017

海南市南赤坂17

和歌山県看護協会

「10月号プレゼント」係



「クッション」

または

「クオカード」

1,000円分

5名様に!

どちらか1つ
当たります!

QRコードからも応募できます▶



プレゼント
応募者の
声

- 子育て中で、子供の体調不良で仕事を休まないといけないことも多いですが スタッフが少なく、休みはもらえますがすごく気を使います。（そっけない対応に）働きやすい環境づくりを、他の病院はどのようにされているか知りたいです。
- 前向きな言葉が多くありますが、看護をつらいと思う時たくさんあると思います。そんな声や折り合いのつけ方などの言葉や方法があれば読んでみたい。

令和5年度 施設代表者会を開催します

日 時 ▶ 令和5年11月25日(土) 13:30～15:30

場 所 ▶ 和歌山県看護協会看護研修センター

内 容 ▶ 1. 看護協会の動向

2. 講演「看護師の勤務環境改善と人材確保・定着について」

講師 東京医療保健大学東が丘看護学部 教授 中島 美津子 先生

11月15日まで
申し込み
受付中

自治体保健師の活動内容や魅力発信イベントを開催します

日 時 ▶ 令和5年12月2日(土) 13:00～16:00

場 所 ▶ 和歌山県立医科大学保健看護学部 第4講義室

対 象 ▶ 保健師資格保有者、看護学生、学生の保護者

内 容 ▶ 第1部 13:00～14:30

日本看護協会から都道府県、市町村、へき地等で活躍する自治体保健師活動の魅力をお伝えします

第2部 14:30～16:00

- ・ 和歌山県内自治体保健師との相談会
- ・ 参加自治体
- ・ 「和歌山県、紀の川市、岩出市、串本町、北山村」
- ・ 「保健師職能委員会によるいろいろ相談」

10月18日～11月18日まで
右記 QR から申し込み



令和5年度 新人看護職員 オリエンテーションを開催しました

令和5年
9月26日
(火)

今年度も午前と午後に分けて開催したところ、午前の部 96 名、午後の部 69 名、合計 165 名の参加がありました。

「看護専門職能団体の組織と活動を理解し、協会員となる意義を知る」「看護専門職としての責任と役割を理解する」「新人看護職同士の交流を深める」ことを目的に新人看護職員研修と併せて開催しています。看護協会事業等について紹介した後、東京医療保健大学准教授 吉村公一先生から「一人ひとりのキャリアデザイン」について講義を受けました。

受講者からは、「自分のキャリアについて考える機会」「自分の良いところ強みを考える機会」「看護協会について知る機会」であったなどの感想がありました。GW では他病院の方との意見交換もでき、有意義な研修となったようです。



眠ること、
楽しみませんか。



東洋羽毛関西販売株式会社

〒640-8324 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2

和歌山営業所

0120-327-766



東洋羽毛について
詳しくはこちらをご覧ください

大切なお知らせ

令和6年度研修等の申込は「マナブル」のみとなります 「マナブル」の

事前登録をお願いいたします



マナブルでできること

マナブルに関するお問合せは
公益社団法人 和歌山県看護協会
TEL: 073-483-1005

施設研修申込ご担当者の方

- ★ 施設でまとめた申し込み・支払い・受講確認
- ★ 受講料の支払いパターンの選択
 - パターン1 施設申込 → 施設払い
 - パターン2 施設申込 → 個人払いそれぞれのパターンで
クレジットカード、銀行振込、コンビニ払いが可能

詳しくは
こちら

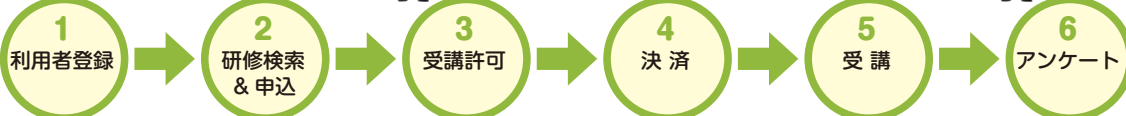


個人申込の方

- ★ 開催月、研修名等で検索して直接申し込み
- ★ 受講料の支払い方法の選択
クレジットカード、銀行振込、コンビニ払いが可能
- ★ 受講の出席、退席は携帯電話での QR コード読み取りで確認
- ★ マイページで受講状況の確認

和歌山県看護協会会員・非会員
どちらの方もご登録可能

コンビニ決済では手数料無料！
オンラインで入金確認・領収書の発行可能！



☆自分の受講履歴の確認ができ自分のキャリアアップを意識する機会が増えました。

☆今まで毎回、パソコンを利用し、申込書ダウンロード後、FAXしていました。マナブルだと携帯電話から仕事の休憩中でも簡単に申込手続きができました。

マナブル 利用者の声

☆受講料の支払いをコンビニ払いでしました。夜勤あけの仕事帰りでも支払いできるようになりました。

☆研修が終わってから携帯電話でいつでも自分のタイミングでアンケートの回答ができるようになり、答えやすくなりました。

☆ ZOOM 参加が初めてでもマナブル利用画面からだと簡単に受講できました。

災害支援ナース養成研修の 受講者募集終了のお知らせ

8 月より受講者を募集しておりました「令和 5 年度 災害支援ナース養成研修」ですが、9 月末で 70 名を超える応募がありました。各施設代表者様のご協力に感謝いたします。また、受講希望された方、お申し込みありがとうございました。

10 月以降にお申し込みを検討されておられた方には大変申し訳ありませんが、下記理由により受講者の募集を終了します。令和 6 年度にも同研修を実施する予定ですので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・定員を超える応募があったこと
- ・20 時間の e ラーニング受講にかなり時間を要すること

ご不明な点がございましたら、和歌山県看護協会までご連絡ください。



令和 5 年度 第 3 回理事会

日時：令和 5 年 8 月 8 日（火）
13:30～15:00

場所：看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

なし

II. 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議等参加報告
4. 会員数について
5. その他